

# 零度の鼓動

# 無色の存在

adult Only R18



…っ、平気だ……  
気に…するな…

膝丸ツ!

はあ…っ…





膝丸！  
後ろ…っ！！



…お守りは  
主から  
渡されてたよね？

やらかしちゃった  
ようだけど平気？

兄者…！！

あ、  
あ、  
あ…



だが  
もう…

「ハッちゃんよ、おれは」

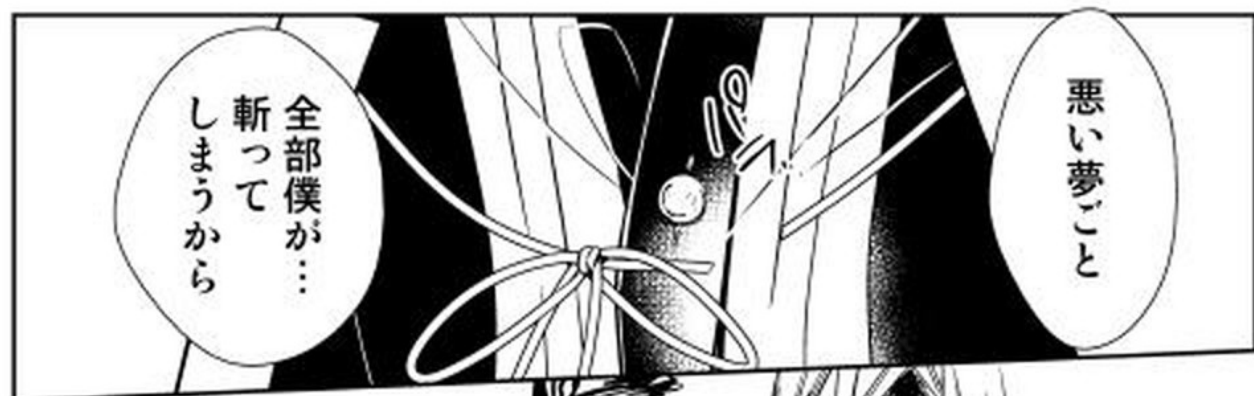






兄者……

大丈夫  
大丈夫……



悪い夢ごと

全部僕が……  
斬って  
しまうから



お前といられる  
この現世を……



守りたくて……

…あとは  
僕に任せて  
いい子にしてるんだよ

もう僕から  
離れるなんて

許さないよ……





膝丸  
…君、腕が…?!

もう下が

まだ…  
繋がっているだけ  
マシだ……

っ、兄者が  
戦ってい

な…っ?!

兄者…っ!!

兄者の…  
お守りか?

いや…  
ま、さか…

どうか  
したのかい…?

こ…、これは…っ



兄……っ

……じ、や……

大丈夫……

まだ、会えぬから





大丈夫だよ……

…お・か・えり・







……あ……

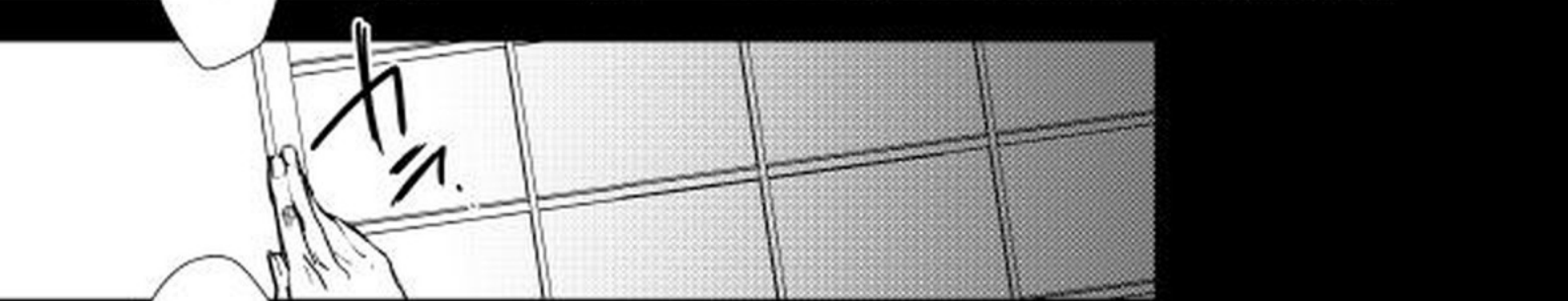
兄者……



…お?  
お目覚めか?



…ああ



薬研〜!



いち兄  
知らねえ？

いや、  
ここには  
来てないが？

そっかー

最近  
出陣続きたからか

みんな  
いち兄いち兄  
言ってるなー

まさか  
手裏剣が落ちて……  
此処にいはいれり  
い無いてなかったよかった

他当たって  
くるなく

おう。

……

……あんたの  
『兄者』も

帰還しては  
ちらちら様子  
見に来てたな




重傷の  
弟のために…

自らも  
『お守り』になるとはね…




大将も  
頭を抱えるわけだ…



兄者！


共にいた刻が長かろうが



兄者はっ

兄者は  
どこだっ！

短かろうが



兄っ…



この関わった『存在』は

…あれ？

傷はもう  
癒えたのかな？

第4巻 第10話

いつのまにか

自分の一部に  
なっていて

おやおや……



それは  
『欠けた』時に  
気付く……

おやおや……？  
どうしたのかな？  
僕の弟は……

兄者……

兄者……っ

兄者





腕の傷は  
どうだ?

…髭切

ちゃんと  
手入れはしておけ

あまり「弟」に  
心配をかけるな  
…という  
意味でもあるがな

……

そうだぞ  
兄者!



ああ  
そうだ

膝丸よ…



手入れ部屋が  
空いてるうちに  
行くぞ!!

軽傷といえど  
そのままはだめだ!  
俺が!

平気  
なんだけど  
なあ…





今の我が手元には  
【髭切】はお前しかもういない——…

『その時』は  
その時なんじや  
ないかな…

よせ…

己の存在は  
誰が為だ…？

お主の『それ』は  
変わらぬか…



もう千年も  
刀やってるんだ

ちゃんと  
主の刀ではいるよ？

それに

やっとなら  
一緒に  
いわれるんだ



今日も  
明日も明後日も

許されるだけ  
傍にいたいと  
思うのは  
いけない…？



まあよい…

『それ』については  
俺は関わらぬ事…

ただ皆の手を  
煩わせんようにな

…仮に  
関わったとして



兄者！

今  
言っていた  
ことは……っ

本当のことだよ……

ではな

俺の用は済んだ

鬼にでも  
なれたら  
敵わんからな……

ほっほっほ……  
いや、斬るか？  
……それだ、

いやいや  
それはないかな

僕は  
お前がいれば……

兄者っ!!

兄者……  
それはっ

いつの僕も  
ここで  
お前といられて

お前と  
過ごして

今のこの姿で  
お前に触れて……

……わかるかな？

僕に『無い』時間を  
知れば知るほど  
余計に

もう  
はなしたく  
ないんだ



前の僕も

その前も


その前の前の  
僕も

それだけは  
変わらないかな  
って思ってる…  
たぶんね

きっとそう…


でも  
どんなに  
強くなっても

ずっとは…  
うまく  
いかないね…



でも僕が  
お前を守っても

お前の顔は  
曇ってしまう…



…守りたいのに





……この現世に

存在している  
以上に

……いつの『僕』も僕なのに……

今<sup>昔</sup>までよりも

僕は  
この体で

姿で

ただお前と  
共に在れることが  
大事なんだ…

…可らしいよね

でも歯止めを  
かけようとする程  
もうだめみたいだ…



大丈夫……  
お前のことは

僕が守るから



……だから

いつの僕も

覚えていて……

10.9.



兄者……？

そう……  
僕はお前だけの  
『兄者』だから















そんなに腰振って  
…気持ちいいの？



キツすぎるなあ…

ほら…

っ…あ…

あーあ…  
もう少し  
解してからのが  
よかったんじゃない？



兄者…っ、

兄者…

うん…  
ここにいますよ



…あだじゃ…

今度は…

今度…こそはっ、

俺がっ…

俺が  
兄者を守るから

強く…っ

なるから…

だから…

あっ、

顔…  
ぐちゃぐちゃ  
だね






たとえ

…言ったよね？

どんなに  
冷たい鼓動だとしても…



ずっと  
覚えててね…

それは早くて  
温かい音がする

そんな顔してる  
お前を

ひとり占めしたい  
って思ってる  
『僕』がいるんだから……

己の鼓動と  
重なる唯一の『存在』  
……

っ……

……よく  
泣く子だねえ……

兄……じゃ……

兄者あ……

はいは……



いじわるから...

僕がいるから

お前は折れない…折らせない。

いつでも お前の傍に…